

竹林

報国寺は、竹林があることで有名です。報国寺を開山した僧である天岸慧広（1273-1335）のために建てられた脇寺である旧休耕庵の跡地に、江戸時代（1603-1867）半ばに竹が植えられました。晩年の慧広は、時間のほとんどをここで過ごし、坐禅を行ったり詩を読んだり書いたりしていました。竹林には約 2,000 本の竹が植わっており、その多くは最も成長が速い種類である孟宗竹です。孟宗竹は最も硬い竹でもあり、カゴなどの日用品を作るのに使われます。

竹林は静かな場所であり、参拝者は自由に散歩しながら木漏れ日や風にざわめく葉の音を楽しむことができます。竹林の中には、静かにリラックスできる場所として設計された茶室があります。竹林には 2 本の小径が通っており、茶室の前で交わっています。竹林のあちこちに、灯籠や苔むした像が立っています。竹林に入るには少額の入場料を支払わなければなりません。